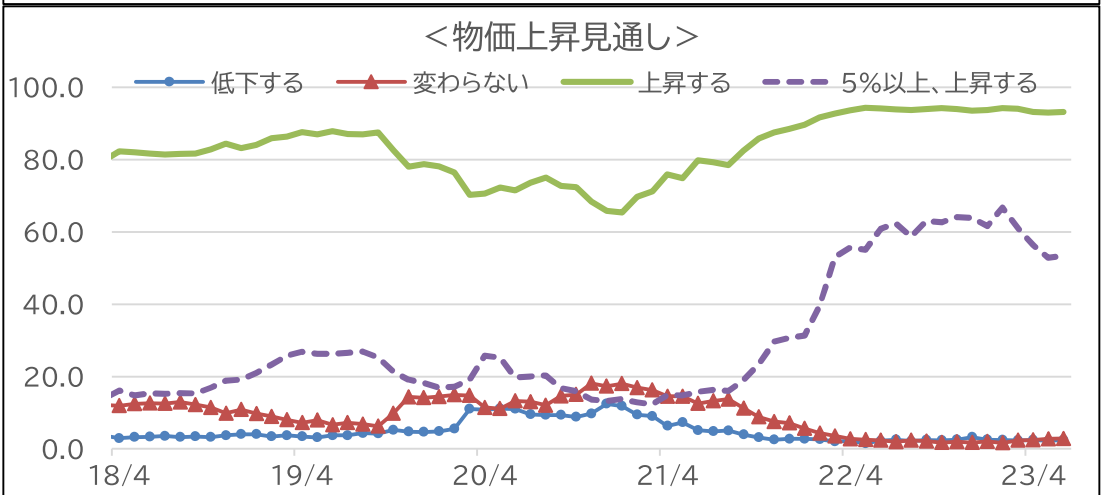
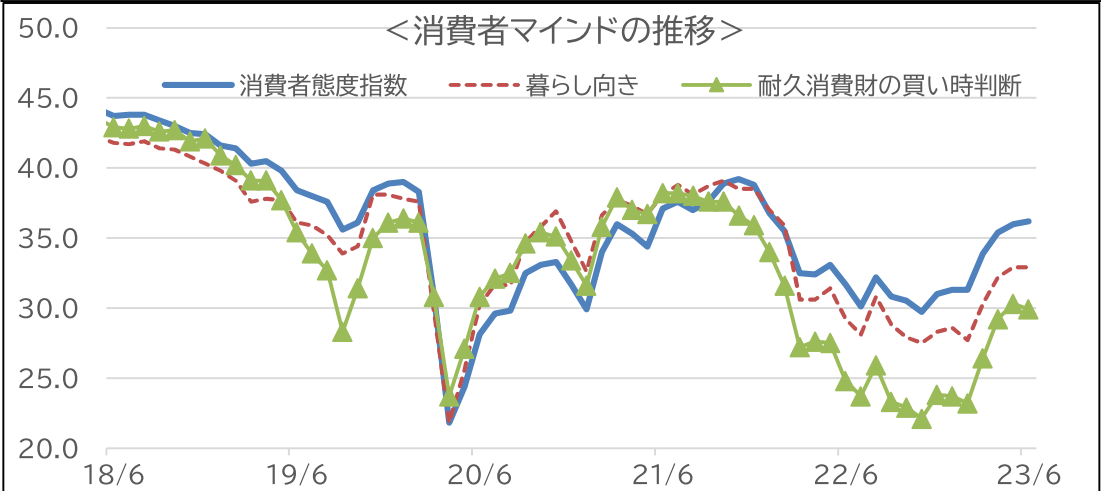


日本・世界の経済

執筆 日本政策総研 主席エコノミスト 村井慎吾  
(監修)北海道大学名誉教授 宮脇 淳  
6月日本 消費動向調査

2023/07/3 第25号  
朝日田コーポレーション  
●メールアドレス: info@sapporo-php.co.jp  
●ホームページ: http://www.sapporo-php.co.jp:



(資料)内閣府資料より作成。

経済再開と物価高の狭間で、消費者マインドの改善には息切れ感がみられる。6月の消費動向調査では、昨年11月を底とする改善基調こそ継続したものの、そのペースは明確に鈍化した。内訳からは、収入環境の改善にもかかわらず物価高の影響により生活防衛的な態度に傾きつつある様子が垣間みえた。

また、同時に発表された「1年後の物価見通し」については、「5%以上の物価上昇」を予想する回答が5割超を維持しており、先行きの物価上昇に対する警戒が継続していた。

国内消費は、経済活動再開や賃金上昇を背景に底堅く推移するも、価格転嫁の長期化等により物価高への警戒感が残存し、当面は伸び悩みが継続しよう。